

第2編 大阪市の人口移動実態

～住民基本台帳移動報告からの分析結果～

(参考) 第2編 大阪市の人口移動実態 ～見出し一覧～

<第1章 大阪市の人口移動>

1 大阪市の人口

- (1) 概況 ～10年連続の人口増加～ (14)
- (2) 市内地域別の推計人口 ～市域中心部の人口が北部の人口を上回る～ (16)
- (3) 住民基本台帳人口 ～外国籍居住者の多い東部地域は推計人口との差がある～ (17)

2 平成20年度中の移動状況

- (1) 移動件数 ～中心部において転入、転出の割合が高い～ (18)
- (2) 地方別移動者数
 - 転入 ～近畿圏が転入全体の約6割を占める～ (19)
 - 転出 ～転入同様近畿圏が最も多く、転出全体の5割以上を占める～ (19)
 - 転入・転出超過 ～前回調査に比べ転入超過が約1.3倍に～ (20)

<第2章 拡大推計結果>

1 抽出結果の拡大推計方法

2 拡大推計結果の概要

(1) 移動者数の概要

転入 ～大阪市外からの転入者が多い区、地域は「淀川区」「中心部」で市内からの転入者が多い区・地域は「城東区」「中心部」～ (24)

転出 ～市外への転出者が多い区・地域は「淀川区」「中心部」で市内への転出者が多い区・地域は「中央区」「中心部」～ (25)

転入・転出超過状況 ～大阪市内のほとんどの地域で転入超過となっているが、「西部」地域は転出超過となっている～ (26)

- (2) 移動者の年齢構成 ～転入者は「20～24歳」の年齢層が最も多く、転出者は「25～29歳」の年齢層が最も多い～ (27)

- (3) 移動者の区別の特徴 ～転入・転出ともに、移動前区・移動後区では「淀川区」「東淀川区」が多い傾向にある～ (28)

- (4) 高齢者(65歳以上)の移動の特徴 ～高齢者において、市外からの転入者が最も多い区は「西成区」で、市外への転出が最も多い区は「淀川区」～ (30)

- (5) 子ども(0～14歳)の移動の特徴 ～子どもにおいて、市外からの転入者が多い区は「平野区」「城東区」で、市外への転出が多い区は「東淀川区」「淀川区」「平野区」～ (31)

- (6) 年齢別の転入・転出超過状況 ～15～29歳の若年層で転入超過が多く、0～4歳の子どもがいる世帯で転出超過がみられる～ (32)

- (7) 大阪市への転入者数と新築住宅着工件数の関係 ～新築住宅着工件数が多い区ほど、転入者数が多い傾向がみられる～ (33)

3 市外からの転入の状況

(1) 移動者数

転入者の男女別・年齢構成 ～市外からの転入者は20～34歳で全体の半数以上を占める～ (34)

転入者の地方構成 ～大阪都市圏からの転入が過半数を占める～ (36)

転入者の男女別・年齢別地方構成 ～「男」は「女」に比べ「東京圏」の割合が高い～ (37)

(2) 移動規模

転入者の地域別移動規模 ～「1人」での移動が圧倒的に多い～ (39)

転入者の男女別・年齢別移動規模 ～全ての年齢階級で「1人移動」の割合が最も高い～ (41)

転入者の地方別移動規模 ～中国を除く西日本の転入者は「1人移動」が9割を超えている～ (43)

- (3) 一件あたり移動人数 ~ 「東京圏」から転入者の移動人数が 1.32 と最も高い~ (45)
- 4 市外への転出の状況
- (1) 移動者数
- 転出者の男女別・年齢構成 ~ 転入と同様 20~34 歳で全体の半数以上を占めている~ (46)
- 転出者の地方構成 ~ 転入同様、「東京圏」の割合が増加しているが、依然「大阪都市圏」が過半数を占める~ (48)
- 転出者の男女別・年齢別地方構成 ~ 国外への転出は女性の方が多いい~ (49)
- (2) 移動規模
- 転出者の地域別移動規模 ~ 他の地域に比べ、「東部」では 2 人以上で移動の割合が高い~ (51)
- 転出者の男女別・年齢別移動規模 ~ 転入同様、全ての年齢階級で「1 人移動」が最も多い~ (53)
- 転出者の地方別移動規模 ~ 近畿・大阪都市圏は「1 人移動」の割合が転入と比べて低い~ (55)
- (3) 1 件あたり移動人数 ~ 転出 1 件あたりの移動人数は転入よりも多い~ (57)
- 5 市内での区間移動の状況
- (1) 移動者数
- 区間移動者の男女別・年齢構成 ~ 20~34 歳の占める割合が市外との移動よりも少なく、5 割を下回っている~ (58)
- 区間移動者の地域構成 ~ 「中心部」「東部」間での区間移動が多い~ (60)
- (2) 移動規模
- 区間移動者の地域別移動規模 ~ 「1 人移動」の割合が市外との移動より低い~ (62)
- 区間移動者の男女別・年齢別移動規模 ~ 移動代表者が「男」の割合が 6 割超、転入、転出よりも高い~ (64)
- (3) 1 件あたり移動人数 ~ 移動人数は前回調査より減少しているが、転入より多く、転出と同程度~ (66)
- 6 転入・転出超過の状況
- (1) 男女別・年齢別超過数 ~ 転入超過の大部分を占める「15~29 歳」では男女とも転入超過だが、55 歳以上では男性が転入超過、女性では転出超過の傾向がみられる~ (67)
- (2) 市内地域別超過数 ~ 「中心部」で市域全体の転入超過の約 9 割を占める~ (68)
- (3) 地方別超過の状況
- 男女別超過数 ~ 「東京圏」に対してのみ転出超過（国外を除く）~ (69)
- 市内地域別超過数 ~ 大きく転入超過となっている「近畿圏」「大阪都市圏」に対しても「北部」「西部」「南部」では転出超過となっている~ (70)

第1章 大阪市の人口移動

1 大阪市の人口

(1) 概況 ～10年連続の人口増加～

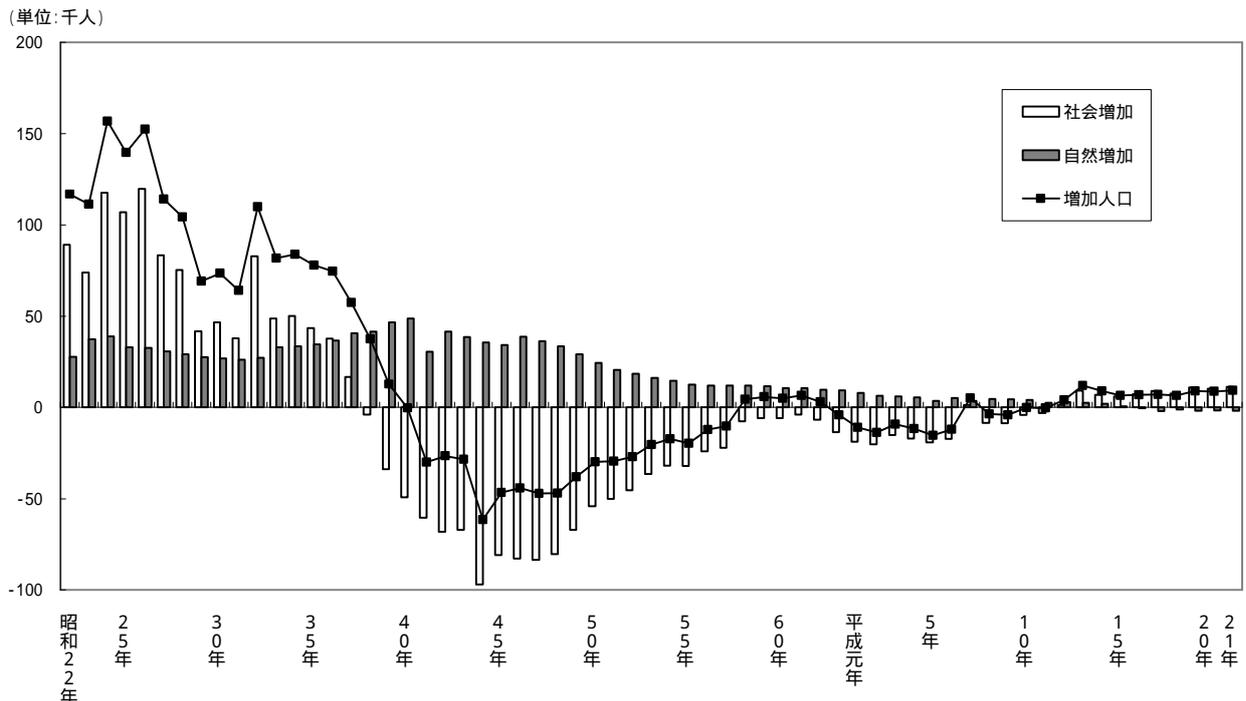
平成21年10月1日における大阪市の推計人口は、266万1,700人で、前年（平成20年10月1日）と比べると、9,601人（0.4%）の増加となった。

本市の人口推移をみると、戦後は昭和40年の316万人をピークに減少を続けてきたが、昭和56年からはその減少幅は縮小し、昭和58年には18年ぶりに増加に転じた後、昭和62年まで微増傾向を示していた。

その後、昭和63年からはバブル経済の進展と崩壊など、社会経済情勢の急変の影響などから、平成7年の阪神・淡路大震災による一時的な増加を除き、減少が続いた。

しかし、平成12年に転入と転出の差である社会動態が38年ぶり（平成7年を除く）に増加に転じたため、人口は増加となった。その後も社会増加が続いていることにより、人口は平成21年で10年連続の増加となっている。ただ、平成16年以降出生と死亡の差である自然動態は、死亡数が上回って減少が続いている。

図 増加人口の推移（昭和22年～平成21年）



注) 自然増加 = 出生 - 死亡、社会増加 = 転入 - 転出 (転入出には市内の区相互間を含む)。
資料) 「大阪市統計書 平成21年版」他 大阪市

表 人口移動

年次	増加人口	自然動態			社会動態			各年10月1日 現在人口
		出生	死亡	自然増加	転入	転出	社会増加	
昭和22年	116,929	51,336	23,462	27,874	217,188	128,133	89,055	1,559,310
昭和23年	111,266	54,792	17,452	37,340	215,716	141,790	73,926	1,706,957
昭和24年	156,743	57,542	18,561	38,981	305,667	187,905	117,762	1,821,300
昭和25年	139,808	49,130	16,158	32,972	399,876	293,040	106,836	1,956,136
昭和26年	152,485	47,084	14,510	32,574	457,564	337,653	119,911	2,114,539
昭和27年	114,127	44,543	13,759	30,784	412,146	328,803	83,343	2,235,913
昭和28年	104,470	42,596	13,475	29,121	374,786	299,437	75,349	2,341,019
昭和29年	69,352	41,142	13,599	27,543	361,787	319,978	41,809	2,420,541
昭和30年	73,525	40,731	13,887	26,844	351,452	304,771	46,681	2,547,316
昭和31年	64,211	39,818	13,652	26,166	311,143	273,098	38,045	2,615,713
昭和32年	109,934	42,147	15,026	27,121	382,262	299,449	82,813	2,719,039
昭和33年	81,742	46,961	13,904	33,057	358,304	309,619	48,685	2,807,619
昭和34年	83,798	46,925	13,418	33,507	422,311	372,020	50,291	2,887,318
昭和35年	77,977	47,896	13,414	34,482	477,696	434,201	43,495	3,011,563
昭和36年	74,546	48,842	12,113	36,729	479,639	441,822	37,817	3,068,478
昭和37年	57,402	52,962	12,244	40,718	500,440	483,756	16,684	3,115,439
昭和38年	37,526	53,294	11,809	41,485	383,754	387,713	-3,959	3,140,670
昭和39年	12,833	59,081	12,509	46,572	377,056	410,795	-33,739	3,154,371
昭和40年	-440	61,934	13,125	48,809	369,533	418,782	-49,249	3,156,222
昭和41年	-29,905	43,888	13,342	30,546	351,686	412,137	-60,451	3,133,084
昭和42年	-26,588	54,134	12,632	41,502	340,398	408,488	-68,090	3,106,085
昭和43年	-28,482	52,507	14,003	38,504	337,202	404,188	-66,986	3,077,751
昭和44年	-61,418	52,785	17,137	35,648	339,804	436,870	-97,066	3,018,175
昭和45年	-46,748	53,052	18,937	34,115	317,693	398,556	-80,863	2,980,487
昭和46年	-44,145	54,791	16,069	38,722	285,670	368,537	-82,867	2,942,404
昭和47年	-47,091	52,930	16,597	36,333	264,054	347,478	-83,424	2,894,509
昭和48年	-46,840	50,058	16,645	33,413	257,133	337,386	-80,253	2,849,102
昭和49年	-37,992	45,528	16,424	29,104	234,250	301,346	-67,096	2,810,322
昭和50年	-29,802	40,901	16,563	24,338	214,741	268,881	-54,140	2,778,987
昭和51年	-29,577	38,115	17,594	20,521	200,636	250,734	-50,098	2,748,781
昭和52年	-26,957	35,782	17,236	18,546	203,954	249,457	-45,503	2,720,651
昭和53年	-20,501	33,575	17,487	16,088	196,624	233,213	-36,589	2,694,091
昭和54年	-17,256	31,883	17,233	14,650	201,881	233,787	-31,906	2,671,163
昭和55年	-19,540	30,573	18,079	12,494	184,719	216,753	-32,034	2,648,180
昭和56年	-12,220	30,191	18,299	11,892	180,087	204,199	-24,112	2,635,211
昭和57年	-10,236	30,065	18,090	11,975	181,418	203,629	-22,211	2,623,124
昭和58年	4,436	30,401	18,477	11,924	184,155	191,643	-7,488	2,624,911
昭和59年	5,825	30,403	18,669	11,734	180,483	186,392	-5,909	2,631,317
昭和60年	4,991	29,608	18,867	10,741	178,147	183,897	-5,750	2,636,249
昭和61年	6,656	29,341	18,756	10,585	182,482	186,411	-3,929	2,643,780
昭和62年	3,104	28,702	18,973	9,729	186,646	193,271	-6,625	2,649,758
昭和63年	-4,240	28,668	19,374	9,294	182,303	195,837	-13,534	2,646,399
平成元年	-10,843	27,081	19,259	7,822	176,441	195,106	-18,665	2,637,434
平成2年	-13,758	26,368	19,968	6,400	167,038	187,196	-20,158	2,623,801
平成3年	-9,182	26,306	20,357	5,949	165,699	180,830	-15,131	2,613,199
平成4年	-11,510	25,922	20,452	5,470	162,306	179,286	-16,980	2,603,272
平成5年	-15,418	25,079	21,317	3,762	166,568	185,748	-19,180	2,595,584
平成6年	-12,080	26,064	20,931	5,133	170,746	187,959	-17,213	2,590,270
平成7年	5,072	25,385	21,635	3,750	186,121	184,799	1,322	2,602,421
平成8年	-3,589	25,766	21,007	4,759	180,016	188,364	-8,348	2,600,058
平成9年	-4,100	25,805	21,320	4,485	178,794	187,379	-8,585	2,596,502
平成10年	-63	25,887	21,877	4,010	163,851	167,924	-4,073	2,596,276
平成11年	-393	25,044	22,435	2,609	180,642	183,644	-3,002	2,595,155
平成12年	4,136	24,922	22,059	2,863	181,592	180,319	1,273	2,598,774
平成13年	11,842	24,890	22,308	2,582	187,496	178,236	9,260	2,607,059
平成14年	8,906	24,279	22,252	2,027	184,950	178,071	6,879	2,614,875
平成15年	6,561	23,865	23,215	650	184,894	178,983	5,911	2,619,955
平成16年	6,839	23,508	23,861	-353	181,692	174,500	7,192	2,624,775
平成17年	6,990	22,571	24,520	-1,949	177,451	168,512	8,939	2,628,811
平成18年	6,587	23,480	24,631	-1,151	179,197	171,459	7,738	2,635,420
平成19年	9,049	23,495	25,285	-1,790	180,237	169,398	10,839	2,643,805
平成20年	8,676	23,761	25,349	-1,588	178,205	167,941	10,264	2,652,099
平成21年	9,432	23,423	25,344	-1,921	183,035	171,682	11,353	2,661,700

注) 年中の自然動態、社会動態の増減の差である増加人口と各年10月1日人口(10月～9月の人口異動)の差は一致しない。
 自然増加 = 出生 - 死亡、社会増加 = 転入 - 転出(転入出には市内の区相互間を含む)。

資料)「大阪市統計書 平成21年版」他 大阪市

(2) 市内地域別の推計人口 ～市域中心部の人口が北部の人口を上回る～

平成に入っても、大阪市の人口は全ての地域でほぼ毎年減少を続けていた。しかし、平成7年の一時的な増加（阪神・淡路大震災の影響）後、中心部が増加に転じ、その増加幅も拡大したことで、平成12年には大阪市の人口総数が増加に転じた。その後は、西部と南部は減少傾向が続いているが、北部と東部は減少と増加を繰り返しており、中心部は引き続き増加傾向にある。

平成21年の人口は南部が727,401人で最も多く、次いで東部が685,576人で、以下、中心部が454,953人、北部が446,183人、西部が347,587人となっている。主な変化としては、平成20年に中心部445,183人、北部445,043人と中心部が北部の人口を上回ったことが挙げられる。（参考 平成元年 中心部：368,324人 北部437,978人）

表 地域別の人口動向

（単位：人）

		平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年
人口 総数	総数	2,637,434	2,623,801	2,613,199	2,603,272	2,595,584	2,590,270	2,602,421	2,600,058
	中心部	368,324	364,150	360,422	358,134	356,377	354,963	356,872	358,745
	北部	437,978	436,522	435,681	434,033	434,015	434,340	439,087	438,916
	西部	383,135	381,728	381,346	379,680	378,683	376,344	375,372	373,566
	東部	692,180	688,353	685,767	684,182	682,124	679,793	681,992	680,871
	南部	755,817	753,048	749,983	747,243	744,385	744,830	749,098	747,960
増加 人口	総数	-10,843	-13,633	-10,602	-9,927	-7,688	-5,314	12,151	-2,363
	中心部	-4,367	-4,174	-3,728	-2,288	-1,757	-1,414	1,909	1,873
	北部	1,396	-1,456	-841	-1,648	-18	325	4,747	-171
	西部	-1,479	-1,407	-382	-1,666	-997	-2,339	-972	-1,806
	東部	-3,688	-3,827	-2,586	-1,585	-2,058	-2,331	2,199	-1,121
	南部	-2,705	-2,769	-3,065	-2,740	-2,858	445	4,268	-1,138

		平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年
人口 総数	総数	2,596,502	2,596,276	2,595,155	2,598,774	2,607,059	2,614,875	2,619,955	2,624,775
	中心部	361,251	364,033	369,483	375,411	383,821	391,108	399,990	408,232
	北部	437,757	438,224	438,529	439,723	440,762	442,946	443,865	443,643
	西部	370,575	368,526	365,316	362,778	360,566	357,999	355,008	353,651
	東部	679,806	679,797	678,038	677,714	678,784	679,469	679,665	681,555
	南部	747,113	745,696	743,789	743,148	743,126	743,353	741,427	737,694
増加 人口	総数	-3,556	-226	-1,121	3,619	8,285	7,816	5,080	4,820
	中心部	2,506	2,782	5,450	5,928	8,410	7,287	8,882	8,242
	北部	-1,159	467	305	1,194	1,039	2,184	919	-222
	西部	-2,991	-2,049	-3,210	-2,538	-2,212	-2,567	-2,991	-1,357
	東部	-1,065	-9	-1,759	-324	1,070	685	196	1,890
	南部	-847	-1,417	-1,907	-641	-22	227	-1,926	-3,733

		平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
人口 総数	総数	2,628,811	2,635,420	2,643,805	2,652,099	2,661,700
	中心部	419,064	428,458	435,855	445,183	454,953
	北部	443,227	443,920	444,247	445,043	446,183
	西部	350,834	349,721	349,478	348,035	347,587
	東部	680,872	680,606	683,400	684,705	685,576
	南部	734,814	732,715	730,825	729,133	727,401
増加 人口	総数	4,036	6,609	8,385	8,294	9,601
	中心部	10,832	9,394	7,397	9,328	9,770
	北部	-416	693	327	796	1,140
	西部	-2,817	-1,113	-243	-1,443	-448
	東部	-683	-266	2,794	1,305	871
	南部	-2,880	-2,099	-1,890	-1,692	-1,732

注) この表は、毎年10月1日現在の大阪市推計人口を掲げたものである。

なお、平成2年、7年、12年、17年は国勢調査結果である。

資料)「大阪市統計書 平成21年版」他 大阪市

(3) 住民基本台帳人口

～外国籍居住者が多いため東部地域は推計人口との差がある～

今回の調査は「住民基本台帳月報」を基に行った。その基本的なデータとなる住民基本台帳人口は、平成21年3月末現在で2,522,981人である。

地域別にみると、推計人口と同様、南部が693,188人(27.5%)で最も多く、次いで東部が638,703人(25.3%)となっている。以下は推計人口と異なり、北部が426,710人(16.9%)、中心部が418,063人(16.6%)、西部が346,317人(13.7%)となっている。なお、住民基本台帳人口は外国人登録者を含んでいないため、外国籍居住者の多い東部地域は推計人口に比べて約5万人少なくなっている。

表 住民基本台帳人口(平成21年3月末現在)

	実数(人)			構成比		
	計	男	女	計	男	女
大阪市合計	2,522,981	1,232,590	1,290,391	100.0%	100.0%	100.0%
北区	97,504	46,764	50,740	3.9%	3.8%	3.9%
都島区	97,878	47,262	50,616	3.9%	3.8%	3.9%
福島区	62,717	29,935	32,782	2.5%	2.4%	2.5%
此花区	65,034	31,976	33,058	2.6%	2.6%	2.6%
中央区	70,404	33,525	36,879	2.8%	2.7%	2.9%
西区	75,283	35,664	39,619	3.0%	2.9%	3.1%
港区	83,693	41,456	42,237	3.3%	3.4%	3.3%
大正区	71,130	35,386	35,744	2.8%	2.9%	2.8%
天王寺区	61,804	28,670	33,134	2.4%	2.3%	2.6%
浪速区	50,351	26,261	24,090	2.0%	2.1%	1.9%
西淀川区	95,491	47,743	47,748	3.8%	3.9%	3.7%
淀川区	163,336	80,916	82,420	6.5%	6.6%	6.4%
東淀川区	167,883	83,460	84,423	6.7%	6.8%	6.5%
東成区	73,012	35,162	37,850	2.9%	2.9%	2.9%
生野区	103,924	50,557	53,367	4.1%	4.1%	4.1%
旭区	91,854	44,126	47,728	3.6%	3.6%	3.7%
城東区	162,837	78,556	84,281	6.5%	6.4%	6.5%
鶴見区	109,198	52,886	56,312	4.3%	4.3%	4.4%
阿倍野区	102,685	47,351	55,334	4.1%	3.8%	4.3%
住之江区	126,460	61,356	65,104	5.0%	5.0%	5.0%
住吉区	152,294	72,127	80,167	6.0%	5.9%	6.2%
東住吉区	130,790	62,656	68,134	5.2%	5.1%	5.3%
平野区	197,193	94,809	102,384	7.8%	7.7%	7.9%
西成区	110,226	63,986	46,240	4.4%	5.2%	3.6%
中心部	418,063	200,819	217,244	16.6%	16.3%	16.8%
北部	426,710	212,119	214,591	16.9%	17.2%	16.6%
西部	346,317	170,174	176,143	13.7%	13.8%	13.7%
東部	638,703	308,549	330,154	25.3%	25.0%	25.6%
南部	693,188	340,929	352,259	27.5%	27.7%	27.3%

資料)「住民基本台帳月報」

2 平成 20 年度中の移動状況

(1) 移動件数 ～中心部において転入、転出の割合が高い～

市内での区間移動を含む平成 20 年度中の移動件数は、転入 130,429 件、転出 114,943 件で転入が約 1 万 5 千件上回っている。

地域別では、転入で最も多いのは中心部の 40,652 件(31.2%)であり、次いで東部の 28,242 件(21.7%)、南部の 26,797 件(20.5%)となっている。転出でも中心部が最も多く、31,329 件(27.3%)であり、次いで東部の 26,009 件(22.6%)、南部の 25,073 件(21.8%)となっている。中心部は転入・転出とも市内で最も多くなっており、他の地域に比べて人口移動の割合が高い地域である。

表 平成 20 年度中の移動件数

(単位：件)

	移動件数						構成比	
	転入			転出			転入	転出
	市外	市内		市外	市内			
大阪市合計	130,429	86,497	43,932	114,943	71,011	43,932	100.0%	100.0%
北区	9,119	6,580	2,539	7,118	4,562	2,556	7.0%	6.2%
都島区	4,832	3,018	1,814	4,569	2,731	1,838	3.7%	4.0%
福島区	4,362	2,990	1,372	3,234	2,093	1,141	3.3%	2.8%
此花区	2,416	1,491	925	2,239	1,260	979	1.9%	1.9%
中央区	8,738	5,740	2,998	6,692	3,916	2,776	6.7%	5.8%
西区	7,342	4,848	2,494	5,470	3,339	2,131	5.6%	4.8%
港区	3,556	2,268	1,288	3,263	1,957	1,306	2.7%	2.8%
大正区	1,854	1,123	731	2,020	1,057	963	1.4%	1.8%
天王寺区	4,531	2,682	1,849	3,554	1,973	1,581	3.5%	3.1%
浪速区	6,560	4,008	2,552	5,261	2,801	2,460	5.0%	4.6%
西淀川区	3,587	2,513	1,074	3,411	2,268	1,143	2.8%	3.0%
淀川区	10,496	8,243	2,253	8,814	6,466	2,348	8.0%	7.7%
東淀川区	8,992	6,956	2,036	8,547	6,252	2,295	6.9%	7.4%
東成区	3,798	2,389	1,409	3,431	1,991	1,440	2.9%	3.0%
生野区	4,544	2,823	1,721	4,364	2,413	1,951	3.5%	3.8%
旭区	3,600	2,397	1,203	3,735	2,347	1,388	2.8%	3.2%
城東区	7,258	4,604	2,654	6,375	3,975	2,400	5.6%	5.5%
鶴見区	4,210	2,816	1,394	3,536	2,432	1,104	3.2%	3.1%
阿倍野区	4,114	2,506	1,608	4,118	2,420	1,698	3.2%	3.6%
住之江区	3,837	2,312	1,525	4,237	2,512	1,725	2.9%	3.7%
住吉区	5,836	3,676	2,160	5,741	3,578	2,163	4.5%	5.0%
東住吉区	4,862	2,839	2,023	4,938	2,777	2,161	3.7%	4.3%
平野区	5,899	3,762	2,137	5,508	3,613	1,895	4.5%	4.8%
西成区	6,086	3,913	2,173	4,768	2,278	2,490	4.7%	4.1%
中心部	40,652	26,848	13,804	31,329	18,684	12,645	31.2%	27.3%
北部	23,075	17,712	5,363	20,773	14,986	5,787	17.7%	18.1%
西部	11,663	7,194	4,469	11,759	6,786	4,973	8.9%	10.2%
東部	28,242	18,047	10,195	26,009	15,889	10,120	21.7%	22.6%
南部	26,797	16,696	10,101	25,073	14,666	10,407	20.5%	21.8%

資料)「住民基本台帳月報」

(2) 地方別移動者数

住民基本台帳情報を基に、大阪市と各地方との間の転入・転出状況を概観する。

転入 ～近畿圏が転入全体の約6割を占める～

市外からの転入者数は101,490人で、男55,325人(54.5%)、女46,165人(45.5%)である。

地方別にみると、近畿圏が60,792人(59.9%)と最も多く、転入全体の約6割を占めている。以下、人数の多い順に、東京圏10,699人(10.5%)、九州・沖縄6,333人(6.2%)、中国5,376人(5.3%)、その他の地方5,272人(5.2%)、名古屋圏4,718人(4.6%)、四国3,742人(3.7%)となっている。

表 大阪市への地方別転入者数(平成20年度)

	転入者数			構成比		
	計	男	女	計	男	女
大阪市計	101,490	55,325	46,165	100.0%	100.0%	100.0%
近畿圏	60,792	31,714	29,078	59.9%	57.3%	63.0%
東京圏	10,699	6,809	3,890	10.5%	12.3%	8.4%
名古屋圏	4,718	2,764	1,954	4.6%	5.0%	4.2%
中国	5,376	2,820	2,556	5.3%	5.1%	5.5%
四国	3,742	1,864	1,878	3.7%	3.4%	4.1%
九州・沖縄	6,333	3,346	2,987	6.2%	6.0%	6.5%
その他の地方	5,272	2,885	2,387	5.2%	5.2%	5.2%
国外	2,014	893	1,121	2.0%	1.6%	2.4%
従前の住所なし	2,544	2,230	314	2.5%	4.0%	0.7%

市内間の区間移動数は除く
住民基本台帳に基づき作成

転出 ～転入同様近畿圏が最も多く、転出全体の5割以上を占める～

市外への転出者数は92,743人で、男49,770人(53.7%)、女42,973人(46.3%)である。

地方別にみると、転入と同様、近畿圏が55,862人(55.0%)と最も多く、転出全体の5割半を占めている。以下、人数の多い順に、東京圏13,698人(13.5%)、九州・沖縄5,307人(5.2%)、その他の地方4,368人(4.3%)、名古屋圏4,324人(4.3%)、中国4,093人(4.0%)、四国2,609人(2.6%)となっている。

表 大阪市外への地方別転出者数(平成20年度)

	転出者数			構成比		
	計	男	女	計	男	女
大阪市計	92,743	49,770	42,973	91.4%	90.0%	93.1%
近畿圏	55,862	28,832	27,030	55.0%	52.1%	58.6%
東京圏	13,698	8,205	5,493	13.5%	14.8%	11.9%
名古屋圏	4,324	2,602	1,722	4.3%	4.7%	3.7%
中国	4,093	2,204	1,889	4.0%	4.0%	4.1%
四国	2,609	1,365	1,244	2.6%	2.5%	2.7%
九州・沖縄	5,307	2,870	2,437	5.2%	5.2%	5.3%
その他の地方	4,368	2,476	1,892	4.3%	4.5%	4.1%
国外	2,128	928	1,200	2.1%	1.7%	2.6%
従後の住所なし	354	288	66	0.3%	0.5%	0.1%

市内間の区間移動数は除く
住民基本台帳に基づき作成

転入・転出超過 ～前回調査に比べ転入超過が約1.3倍に～

転入と転出の差である超過状況は、総数で 8,747 人の転入超過であり、前回調査の 6,766 人に比べ約 1.3 倍に拡大している。

地方別にみると、東京圏と国外に対しては転出超過となっている。その他の地域に対しては転入超過であり、最も多い近畿圏では 4,930 人となっている。

表 地方別転入・転出超過人数（平成 20 年度）

	転入超過人数		
	計	男	女
大阪市計	8,747	5,555	3,192
近畿圏	4,930	2,882	2,048
東京圏	-2,999	-1,396	-1,603
名古屋圏	394	162	232
中国	1,283	616	667
四国	1,133	499	634
九州・沖縄	1,026	476	550
その他の地方	904	409	495
国外	-114	-35	-79
従前の住所なし	2,190	1,942	248

住民基本台帳に基づき作成

超過人数は、（転入者数-転出者数）である。

よって、数値が負の数であるものは転出超過を示す。

表 【参考】地方別転入・転出超過人数（平成 15 年度）

	転入超過人数		
	計	男	女
大阪市計	6,766	4,182	2,584
近畿圏	3,212	2,035	1,177
東京圏	-2,662	-1,300	-1,362
名古屋圏	-88	-115	27
中国	1,057	415	642
四国	585	205	380
九州・沖縄	344	53	291
その他の地方	488	210	278

住民基本台帳に基づき作成

注) 大阪市計は「国外」と「従前の住所なし」の転入者を含んでいるため、内訳の合計とは一致しない。

超過人数は、（転入者数-転出者数）である。

よって、数値が負の数であるものは転出超過を示す。